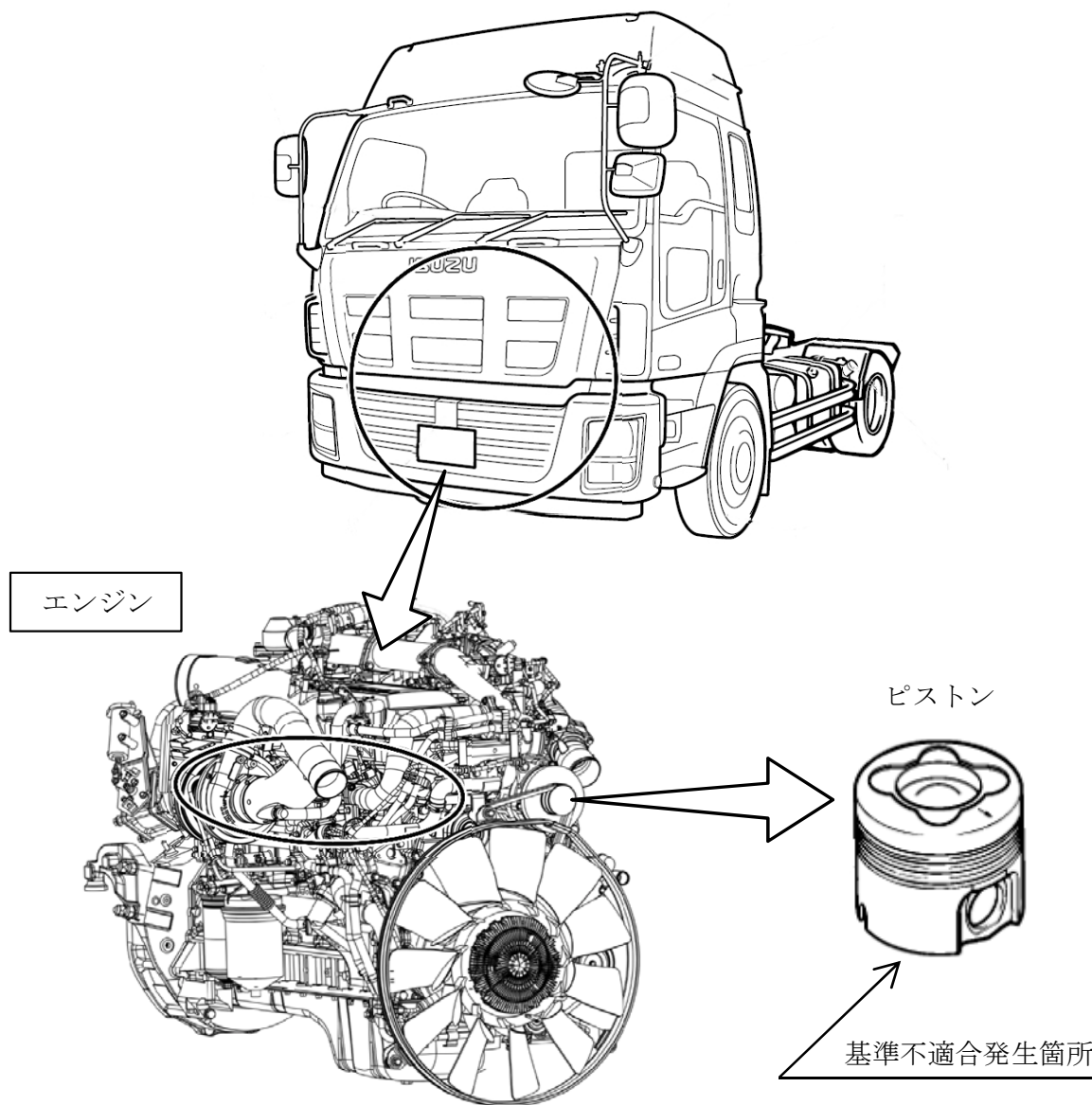


改善箇所説明図



大型トラック用エンジンにおいて、ピストン燃焼室の強度が不足しているため、高負荷走行時やDPD（粒子状物質除去装置）再生時にピストンの温度が高くなり、過大な負荷がかかることで亀裂が生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ピストン燃焼室の亀裂が進行して穴が開き、最悪の場合、エンジンの出力低下及び白煙排出により、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容:

全車両、エンジンを対策品に交換する。

識別 : インテークダクトに桃色ペイントを塗布する。

注 : は措置する部品を示す。